

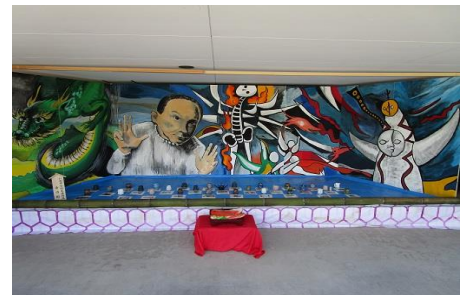
## 奉仕の精神！地域との連携、人としての誇り

記録的猛暑だった夏休みが終わり、2学期がスタートして1ヶ月が経ちました。30℃を越える猛暑日はあるものの、徐々に短くなる日照時間や虫の音の大きさに秋の訪れを強く感じるようになってきています。子どもたちは、中間テストや合唱練習など、自分、学級、部活動、進路など、それぞれの目標に向かってメリハリをつけた活気ある学校生活を送ることができていると感じています。

こうした中、本校の子どもたちと地域(仁尾町)の素晴らしさを、改めて実感することがありました。まず8月5日、久しぶりに行われた「竜祭り」に、太鼓係で3年生5名、2年生1名の計6名がボランティアとして参加しました。当日はニュースとしても大きく扱われるなど、多くの子どもたちが祭りに参加し、町内最初の祭りを盛りあげるとともに、地域とのふれ合いや良さを改めて感じる事ができたことでしょう。次に9月22～24日に行われた「八朔人形祭り」には、美術部が久しぶりの作品展示、2日間でのべ51名がボランティアとして参加しました。当日割り当てられた役割に一生懸命に勤しみ、地域のために頑張っている子どもたちの姿を見ることができ、本当に幸せな時間でした。終了後は、実行委員会の方をはじめ、多くの地域の方からお褒めの言葉をいただき、朝礼で報告・称賛の場をもつことができました。頑張ってくれた皆さん、本当にありがとうございました。

実は学校も最近、地域のありがたみを感じる出来事がありました。赴任以来、運動場の各所に転がっている丸太が気になっていたのですが、夏休みに地域の方に「処分したいので小さく切ってもらえませんか」と相談したところ、「無償で引き取り、処分します」と言ってくださり、ご厚意で丸太を長短15本、長い杭を8本など、大量の不要な木を処分することができました。また、先週末の草刈り作業には13名の方が参加してくださり、一緒に作業をしていただきました。本当に感謝です！

秋祭りでの姿のみならず、本校の子どもたちには、自分の力を学校や地域、周りの人たちのために役立てようとする素晴らしさがあります。これらは心の強さや優しさ(=豊かさ)をもちあわせていてこそ行動できることであり、その意味で学校の誇り、人としての誇りだと思っています。いつまでも大事にしてほしい考え方・行動の1つです。



### 確かな学力

9/12(火)の午後、三観地区中学校英語弁論・暗唱大会が、観音寺中央図書館で行われました。本校からは弁論の部に〇〇〇さん(3年)、暗唱の部に〇〇〇〇さん(2年)が出場しました。2人とも夏休み中から英語科やALTの先生に特訓してもらっていましたが、本番はその成果を十分に発揮した立派な弁論・暗唱でした。

下の写真は、2年生の英語の授業の様子です。先日、教育委員会から英語力を高めるためのポイントとして「生徒のモデルとして、教師が英語で発話する」「生徒が自分の考えや気持ちを英語で伝え合う機会を増やす」「生徒の主体性を引き出す言語活動を設定する」「活動の目的・生徒の学習状況に応じて指導する」「生徒が自身の理解度を確認できるようにする」の5つが示されました。本校も英語科教師には、示されたポイントを意識して授業改善を図るように指示しています。力がつくまでには時間がかかるとは思いますが、確実な実践の積み重ねは必ず実を結ぶものと信じています。

